

令和7年度道路下空洞調査の調査結果と対応状況について

1 調査の背景について

区は、5年ごとに実施する道路構造物等の総点検の一項目として2車線以上の道路下の空洞調査を実施しています。

しかし、令和7年5月21日に新橋三丁目25番先の区道で道路陥没が発生し、この道路が2車線未満のため調査対象外であったことから、区民の安全、安心を確保するため、2車線未満の全区道を対象に令和7年度及び令和8年度に道路下空洞調査を実施することとしました。

2 調査の概要

ア 調査について

(ア) 目的

道路下の空洞に起因した陥没による第三者被害を防止する観点から、道路下に発生した空洞を調査・分析することにより、陥没の予防措置を講じるため。

(イ) 調査対象

区が管理する2車線未満の道路

(単位：km)

調査年度	各種延長	芝	麻布	赤坂	高輪	芝浦港南	計
令和7年度	道路延長	21.89	19.01	16.10	20.14	1.57	78.71
	調査延長	35.29	33.24	24.99	34.20	2.34	130.06
令和8年度 (予定)	道路延長	22.90	26.4	14.4	11.9	-	75.6
	調査延長	45.80	52.8	28.8	23.8	-	151.2

(ウ) 調査内容

国土交通省が策定した総点検実施要領(案)【舗装編】を準用し、空洞箇所を探查。

(エ) 調査期間(令和7年度実施分)

令和7年6月30日から令和8年2月27日まで

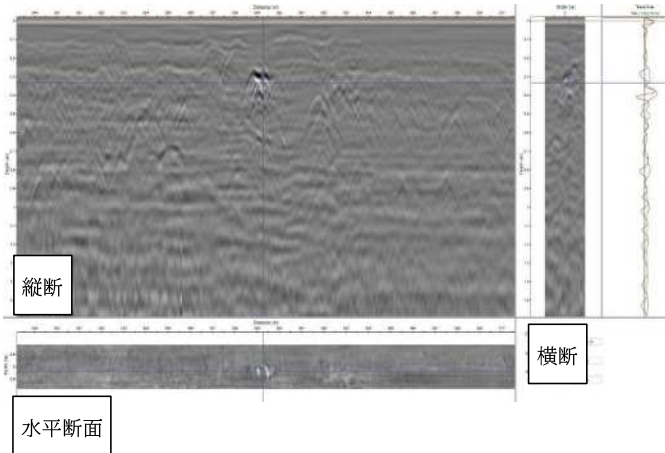

イ 調査状況

(ア) 調査方法

		
<p>①車載式電磁波地中レーダー 探査車による調査</p>		<p>②ハンディ型地中レーダー による調査</p>

		
<p>③ハンディ型地中レーダー によるボーリング調査箇所決定</p>	<p>④小口径ボーリングマシン による削孔</p>	<p>⑤スコープカメラによる 空洞調査</p>

(イ) 調査記録

	
<p>①レーダー探査による異常信号記録</p>	<p>⑤スコープカメラによる 空洞撮影記録</p>

3 令和7年度調査結果

調査対象延長 130.06km において、空洞箇所を 211 箇所確認しました。

	調査延長 (km)	要補修箇所
		空洞箇所
芝	35.29	73
麻 布	33.24	65
赤 坂	24.99	41
高 輪	34.20	28
芝浦港南	2.34	4
合 計	130.06	211

判定区分

陥没リスク Ⅰ	陥没の危険性が高いと考えられるため迅速な対応が必要
陥没リスク Ⅱ	陥没の危険性がやや高いと考えられるため極力早い対応が必要
陥没リスク Ⅲ	すぐに陥没する危険性は低いと考えられるが、順次補修の必要

4 対応状況

陥没リスクⅠ（陥没の危険性が高いもの）の空洞7箇所は補修済みです。陥没リスクⅡ（陥没の危険性がやや高いもの）の空洞17箇所のうち2箇所は補修済みで、残り15箇所は、令和8年度から計画的に補修します。

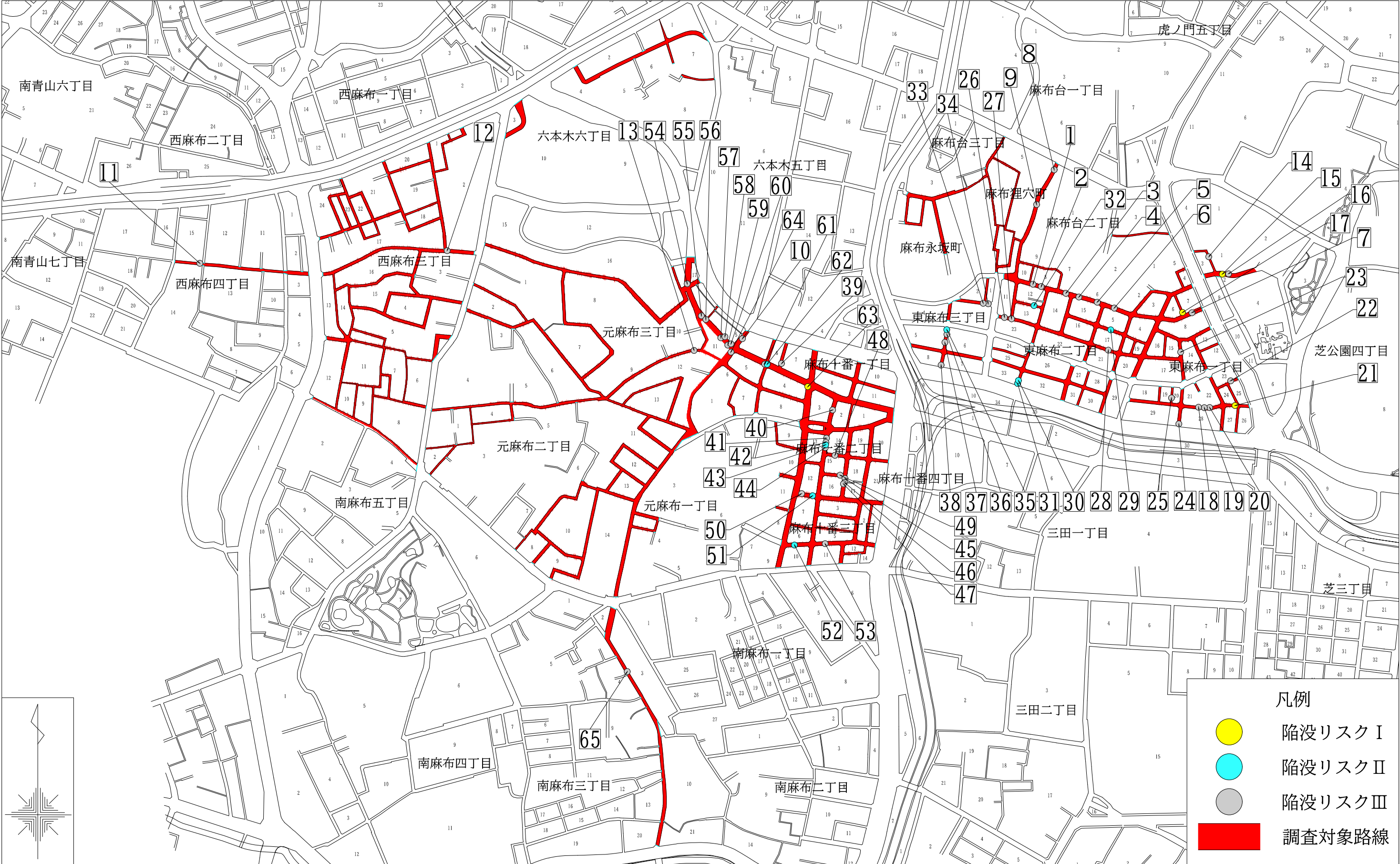
また、陥没リスクⅢ（陥没の危険性が低いもの）の空洞187箇所のうち3箇所は補修済みで、残り184箇所は、令和8年度から計画的に補修します。

	箇所数	陥没リスクⅠ	陥没リスクⅡ		陥没リスクⅢ	
		補修済	補修済	補修予定	補修済	補修予定
芝	73	1	2	2	0	68
麻 布	65	4	0	9	0	52
赤 坂	41	1	0	4	0	36
高 輪	28	1	0	0	0	27
芝浦港南	4	0	0	0	3	1
合 計	211	7	2	15	3	184

調査対象路線及び空洞箇所図 芝地区

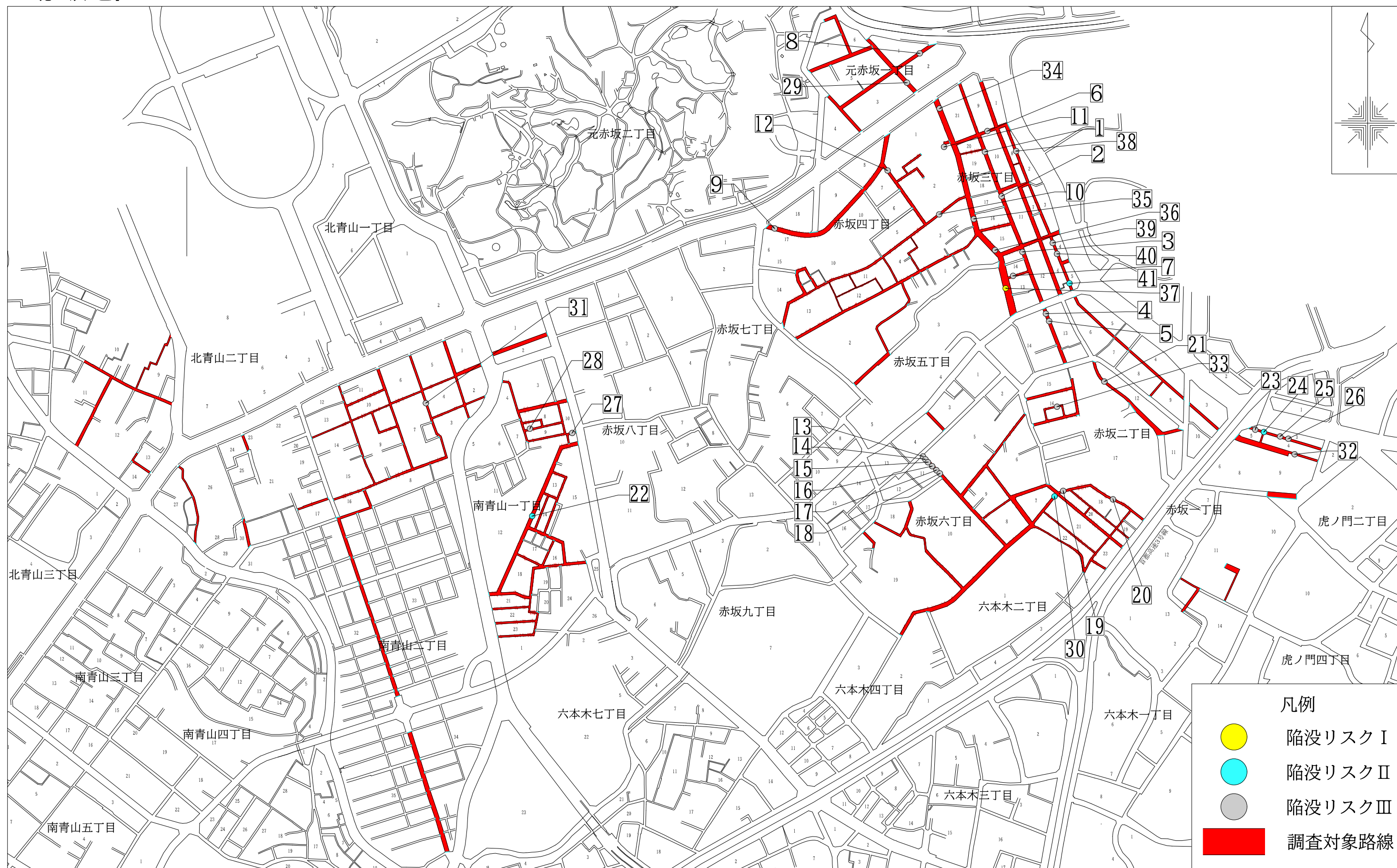


調査対象路線及び空洞箇所図 麻布地区



調査対象路線及び空洞箇所図

赤坂地区



調査対象路線及び空洞箇所図

高輪地区



調査対象路線及び空洞箇所図

芝浦港南地区

